

今回6名が質問し、
その要約を掲載しました。

藤咲 芙美子 議員 …………… P 7

- ・ 甲状腺エコー検査について
- ・ 広報紙の配付について
- ・ 住民からの情報提供の扱いについて

河原井 大介 議員 …………… P 8

- ・ 水戸ホーリーホックについて
(旧七会中学校の跡地利用整備)
- ・ 黒澤止幾生家について
- ・ 江戸川区との交流事業について

南條 治 議員 …………… P 9

- ・ 生活道路の整備について
- ・ 町の借地の状況は
- ・ 財政力指数、実質収支比率、公債費負担比率、
実質公債費率、将来負担比率の推移は

阿久津 則男 議員 …………… P 10

- ・ 町の入札について
- ・ 太陽光発電事業について
- ・ うぐいすの里、山びこの郷について

三村 孝信 議員 …………… P 11

- ・ 学童保育について
- ・ 桂地区の学校再編について
- ・ スポーツによる町づくりについて

杉山 清 議員 …………… P 12

- ・ インフラ整備について
- ・ 水道事業について
- ・ 消防業務について
- ・ オリンピック、ホストタウン誘致について
- ・ 土地開発事業の適正化に関する条例について

一般質問

町政を問う



藤咲 芙美子 議員

甲状腺エコー検査について

〈町長〉 個別に手紙を通知した

藤咲 甲状腺エコー検査の対象者は3026人で、希望は567人。検査を受けた181人のうち、75人が要経過観察である。このことは放射能被曝の問題。継続的な検査が必要であり、2回目の検査も重要で、実施すべきだ。チエルノブイリの経験でも5年目から異常が多くなっている。さらなる安心のための検査は必要だ。さらに、保護

者の事前の教育、説明も実施すべきだ。

町長 個別に手紙を送りもつとも親切な通知の方法をとった。集団検診を受け

てくれる医者がどこにいるか確保が課題。自分の都合の良い時間に自分の望む医療機関で検査を受けられる親切な制度になっている。

住民向けの研修は行っていない。

住民向けの研修は行っていない。

住民向けの研修は行っていない。

住民向けの研修は行っていない。

住民向けの研修は行っていない。

住民向けの研修は行っていない。

広報紙の配付について

《町長》

ボランティアの手で届けるのも一考

藤咲 7000余りの世帯で広報しる

さとは自治会加入の世帯しか配布していない。自治会に入

ってもらったための措置

と聞くが、報復のよ

うな扱いだ。高齢だからと、何らかの事情で退会した

人が町から不利益を受けることは平等、



公平を建前とする自治体がやるべきことではない。

ボランティアを募るのも一つの方法だが

広報は町が責任をも

のが役目ではないか。

町長 自治会未加入者だけの郵送だと

年間350万円かかる。別の意味で不公平が生じる。自治会

加入への意欲がさらに減ってしまうのでは

はないかと心配だ。財政負担をかけずに

ボランティアの手で届けるのは一考すべき提案。

【お詫びと訂正】

議会だより48号の「認定ことも園について」の質問の中で、来年度から常北幼稚園が認定子ども園になると掲載いたしました。正しくは平成31年3月に閉園の誤りです。お詫びして訂正いたします。

住民からの情報提供の扱いについて

《町長》

指導徹底を図っていく

藤咲 公務員には

厳しい守秘義務が課

されている。住民からの情報提供や住民

個々のプライバシーの保護や個人の尊重

を守るということについて町はどのよう

に対応しているのか。通報、相談をした町

民のプライバシーが漏れているという人

もいる。町民が不利益を被るようなことがあつてはならない。

町長 保護条例な

どへの理解を深め指

導徹底を図り職務上の秘密保持に努めて

いく。目安箱で訴えて来られる人もいる。



水戸ホーリーホックについて (旧七会中学校の跡地利用整備)



かわらい だいすけ 議員
河原井 大介

〈町長〉今、交渉中であり答えられないが、
議会で審議したい

河原井 昨年、7月

21日には町と水戸ホーリーホックとの間でクラブハウス整備

事業の協定書が結ばれているが、天然芝グラウンドの維持管理費、また、クラブ

ハウスの維持管理費これらの費用を、城里町としては一体い

くらかかって、どのように負担をするのか。

町長 今、交渉中であり、答える事ができない。平成29年

1月末に議会を招集し、集中審議をした

い。

河原井 協定書には、クラブハウス及び練習場として10年以上

使用する計画となっているが、万が一10年以内に撤退した場

合の損害補償等はどうなるのか。

町長 撤退した場合の補償に関するこ

とについても、現在交渉中である。

河原井 地元のサッカースポーツ少年団は、どのようにグラウンドを利用できる

のか。

町長 サッカー少年団は、日曜日に新しいグラウンドでサッカーすることができ

る。

河原井 J2水戸ホーリーホックへクラブハウス・練習場を

提供することでの城里町への経済効果は。

町長 旧七会中跡地利用施設への七会

地区の公共施設を1つにまとめることにより、人件費の費用

縮減効果と、町内の経済活動の活発化。



町長 町として、黒澤止幾生家を復元する計画があるのか。

町長 現在、復元計画はないが、復元したいとは考えている。

河原井 復元・保存をする場合、その費用はどのくらいかかるのか。

町長 保存のための設計・工事に関しては幅があるため、正確な数字・金額は示せない。

町長 現在行っている江戸川区との交流はどのようなものか。

町長 視察研修、区民まつり、物産市、コンサートや農業体験ツアー等がある。

河原井 「姉妹都市」「友好都市」の締結に向けてどのように協定の締結を実現するのか。

町長 できるだけ早く結びたい。

河原井 JAや商工会と連携しながら、江戸川区にビジネス交流を目的としたアンテナショップ等のビジネスオフィスの開設をしてはどうか。

町長 JAや商工会から具体的な提案がない。提案があれば検討する。

河原井 今後、町として江戸川区との交流セクションを設置する必要があらうか。

町長 来年度に向けて、現在、新たに地域おこし協力隊を募集している。着任したら、極力彼らを活用して江戸川区との交流をしていく。



黒澤止幾生家について

町長

現時点で計画はない

東京都江戸川区との交流事業について

町長

出来るだけ早く協定を結びたい

河原井

現在行っている江戸川区との交流はどのようなものか。

町長

視察研修、区民まつり、物産市、コンサートや農業体験ツアー等がある。

河原井

「姉妹都市」「友好都市」の締結に向けてどのように協定の締結を実現するのか。

町長

できるだけ早く結びたい。

河原井

JAや商工会と連携しながら、江戸川区にビジネス交流を目的としたアンテナショップ等のビジネスオフィスの開設をしてはどうか。



なんじょう 南條 おさむ 治 議員

生活道路の整備について

〈町長〉再調査を行い、対象箇所を確定していく

南條 消防・救急から指摘の町道整備現況は。

町長 再調査を行い対象箇所を確定。関係各区と相談、整備計画を着手したい。

都市建設課長 生活道路は去年二箇所行った。

南條 救急車の事故と町の対応は。

町長 今回の事故は大変遺憾に思う。消防長に対し被害者に誠実な対応と再発防止策の徹底を強く申し入れた。

町の借地状況は

〈町長〉
整理を行い、解約・返還譲渡交渉を行う。

南條 旧町村の借地面積と金額は。

平成28年度

	借地面積 (㎡)	支払額 (円)
常北地区	230,555	21,143,608
桂地区	205,443	9,375,051
七会地区	289,749	10,118,428
合計	725,747	40,637,087

南條 整理していく考えは。

町長 整理を行った上で必要がないと判断できたものは、契約期間中でも解約・返還など借地を減らし、将来的に必要な物は借地契約の更新時期に譲っていただく交渉を行い、利用頻度がなく将来的に必要な物は借地契約の更新時期までに返還することで管理

費等の縮減を期待している。

財政力指数・実質収支比率・実質公債費比率・将来負担比率の推移は

〈町長〉
一番大事なのは実質公債費比率と将来負担比率

南條 財政力指数・実質収支比率・実質公債費比率・将来負担比率の推移は。将来負担比率は減少傾向。一番大事なのは実質公債費比率と将来負担比率。

町長 財政力指数はほぼ横ばい。実質収支比率は、横ばい。将来負担比率は、横ばい。

項目 \ 年度	H23	H24	H25	H26	H27
財政力指数	0.39	0.38	0.38	0.38	0.38
実質収支比率 (%)	3.8	0.5	0.9	0.2	
公債費負担比率 (%)	15.5	16.9	16.7	15.9	
実質公債費比率 (%)	15.0	14.3	13.7	12.8	
将来負担比率 (%)	131.6	110.7	70.6	73.1	

※ 実質公債費比率：どれ位借金の返済にお金が充てられているか。
※ 将来負担比率：どれ位将来世代に負担が残っているか。

総務省から自治体に対して指導制限がかかるその指標が実質公債費比率と将来負担比率。この二つで財政の健全度を見る。

(例) 夕張市

実質公債費比率 61・0

将来負担比率 724%

南條 城里町としての課題。基金の状況は合併当時平成19年30億円。27年度52億円。お金が無いということではなく一歩踏み込んだ形で努力しては。

町長 基金の取り崩しは非常に少額。

町の入札について



あくつ のりお 議員
阿久津 則男

〈町長〉三地区に分けて発注するか今後検討したい

阿久津 町道維持管理を一業者で行なっていたが、今年から常北地区で一業者、桂・七会地区で一業者と分けたが理由を伺う。

町長 道路補修の要望が多く未処理が年間92件あり、その対応として常北地区と桂・七会地区に分け、機動力のあるBクラス業者の入札とした。

阿久津 常北・桂・七会と三地区にはできなかったのか。

町長 三地区に分けて発注するか今後検討したい。

阿久津 設計業務の入札で予定価格、984万円を300万円で落札されたが、300万円台が三社あり予定価格に甘さがあったのではないか。

町長 下水道設計標準歩掛表積算単価を基に積算して適正な価格で発注している。

太陽光発電事業について

町長 《町長》
三年間で71件、5467万円の税込となっている

阿久津 太陽光発電事業者の数は。また、固定資産税は過去三年間どの位入っているのか。

町長 三年間で71件、5467万円の税込となっている。

阿久津 町の空きグラウンド等に太陽光事業を行なう計画があったと思うがどうなっているのか。

町長 町として意思決定したことはない。周囲の景観形成や立地条件を考慮し公有地の活用を検討したい。

阿久津 かつら保育所跡地・山びこの郷グラウンドの太陽光発電事業は最終的に廃棄物の問題を防ぐ為に原状回復保証金を預り、契約を結んでいるが、町民にもPRすべきではないか。

町長 住民、地主にも伝え、アドバイスしていきたい。

うぐいすの里、山びこの郷について

町長 《町長》
山びこの郷は平成31年で廃止予定うぐいすの里は方向性を検討

阿久津 過去三年間の売上状況、宿泊施設の現状、また今後の方針を伺う。

町長 うぐいすの里、25年191万円。26年29万円。27年36万円。山びこの郷、25年101万円。26年143万円。27年126万円である。宿泊施設はどちらも老朽化が進んでいる。今後、山びこの郷は平成31年で廃止予定。うぐいすの里は方向性を検討している。

阿久津 使用できる宿泊施設を現状のまま年間10万円位で貸し出しできないか。

町長 現状を確認して検討したい。

阿久津 うぐいすの里は収入が30万円、支出が1000万円と大きく赤字だが、グラウンドに町の税金を考慮し、跡地原状回復保証金の制度で太陽光事業をやるべきではないか。

町長 今後検討や議論してまいりたい。





みむら たかのぶ
三村 孝信 議員

学童保育について

〈町長〉 三つの案を考えている。

三村 石塚小の学童保育施設が老朽化しているが、町の対応は。

町長 劣化したプレハブで放課後児童クラブをやるわけにはいかない。三つの案を考えている。

(一)閉園となる常北幼稚園を補修し使用する。

(二)石塚小の空きクラスを利用する。

(三)建物を新築する。

三村 建物を現在の場所に新築するのであれば、子どもだけではなく、地域の人が集まれるコミュニケーション機能を併せ持った複合的な施設を提案したい。

桂地区の学校再編について

《教育長》
当面は考えていない

三村 桂地区の学校再編は考えているか。

教育長 教育長 当面(10年先位まで)は考えていない。桂中学校も一学年35名から40名は維持できる。

三村 七会中が常北中と統合した要因の一つに単独での部活動が困難になったことが挙げられる。桂中にその心配はないのか。

教育長 小学生向けに夏・冬休みに体験入部を実施して部員の確保に努めている。新人戦などのローカル大会は常北中から生徒を借りて出場した。ただ、中学校体育連

盟主催の大会には参加できない。今後合同チームが参加できるように申し入れて行きたい。

三村 小・中学校の統合は考えているか。

教育長 2年後に小学校に英語科が導入されるので、小中連携を計っていく。今年度から小中の垣根をとり払った義務教育学校という制度がスタートしたので、これらも視野に入れ検討していきたい。



スポーツによる町づくりについて

《町長》
川下りを取り入れる様考えてみたい

三村 スポーツによる町づくりとして、カヌーによるリバーツーリングを提案したい。

町長 那珂川を活用した川下りを常陸大宮市との御前山DMO事業に取り入れる様考えてみたい。※DMO：観光地づくりの核として活動する法人



三村 県では、日本一のつくば霞ヶ浦りんりんロードが開通し、サイクリングが注目されている。町でもホルルの湯等にサイクリングベイスをつくり、レンタサイクルを導入してはどうか。

まちづくり戦略課長 幅広い年代の利用が可能であり、ホルルの施設を拠点としたコースづくりや自転車の貸し出し等を含め検討したい。

インフラ整備について



杉山 清 議員

〈町長〉バイパスの接続にふさわしい町道拡幅を考えている

杉山 ①123号バイパスと並行し、町道整備は石塚地区活性化に必要不可欠では。②町道810620線（茨鉄軌道敷）へ迂回する大型車両が多く道路の破損と通学児童への安全対策を。

③町道認定前に根小屋橋の改修を。手這坂は県道61号として今後も県管理でお願いできないか。

町長 ①バイパスの接続にふさわしい町道拡幅を考えている。②住民生活や子供の通学に支障にならないように笠間警察署に交通規制を申し入れ、検討する。

都市建設課長 ③手這坂、根小屋橋等重要な路線は管理者と十分協議して参る。

水道事業について

〈町長〉石塚浄水場、協議検討し方向性を

杉山 先の議会で設備更新を提案し、桂は岩船第2加圧場、浄水場を残すのみですが、岩船浄水場付近には住居が点在し、冬は河川も凍結し水利に苦慮している。建設時消火栓の設置を。

石塚浄水場は稼働47年が経過し老朽化している。今後の対応は。

水道課長 岩船2施設は28年度予算（明許繰越見込み）で進める。消火栓は、総務課と協議する。石塚浄水場は、9500人に水を供給し、老朽化でメンテナンス

が絶えないので、協議検討し、方向性を見出して参る。

消防業務について

〈町長〉負担金について水戸市へ申し入れを行なう

杉山 金より命と思うが、出張所開設から10年で人口は3000人減。6500万円の負担金増に。

算出方法等軽減策を含め水戸市と協議できないか。

町長 救急無線指令センター運営協議会の計算方法で、均等割10%と人口割90%で水戸市へ申し入れを行なう。

オリピック・ホストタウン誘致について

〈町長〉事前キャンプホストタウン登録も可能

杉山 次世代を担う子供達へ夢と希望の誘致をと思うが。

町長 町は国体に向けボクシングの会場整備をしている。ボクシングなら事前キャンプホストタウン登録も可能。

土地開発事業の適正化に関する条例について

〈町長〉優良な宅地開発等応援制度をつくらせて行きたい

杉山 町は少子高齢化、人口減少、更に大事な企業誘致を踏まえ6月議会で質問しましたが、県の審査も含め妙案はあるのか。

町長 宅地開発が進まず、石塚小学校区では児童が急減している。優良な宅地開発や家を建てる人への応援制度をつくらせて行きたいと考えている。

〈その他の質問〉

- ・ 県道錫高野石塚線について
- ・ 水防について
- ・ 災害協定について